

延同盟通信社第二十八回理事會議事錄

昭和十九年三月二十四日午後二時二十五分開會、同四時三十分閉會

東京都麹町區內幸町二、同盟通信社別館會議室

會場
理事總員 參拾七名
出席理事 參拾壹名

堀	杉	北	田	一	高
義	山	野	中	力	石
貴	榮	吉	清	次	眞五郎
鷹	古	内	文	郎	阿部
晴	野	木	古	伊豆	暢太郎
	伊之助	下	村	富人	伊藤
壽	畠	猛	精一郎	小坂	藤正徳
	山	矢部	武雄	元太郎	
	行	謙次郎			

社団法人 同盟通信社

委任狀

原	高	山	光	末
田	田	本	永	光
棟一郎	元三郎	實一矢	眞三	正人
小汀	野中	野	呂	松本
利待	橘吉	眞東	光男	重治
小柳	浦田	東	東	
調平	芳郎	季彦	眞平	

常任監事 築田 欽次郎

理事長 高石 眞五郎

會 議 經 過

高石議長開會ヲ宣シ議事ニ入ル

一、昭和十九年度收支豫算ノ件

古野社長ヨリ別紙昭和十九年度一般會計並南方通信特別會計

ニ付大要ヲ説明シ採決ノ結果滿場一致本豫算案ヲ可決承認シ
タリ

二、役員他職務ノ件

高石議長ヨリ古野社長ハ昭和十八年十一月二十九日國際電氣

通信株式會社ノ取締役ニ就任シタル方同社方國策的重要機關

ナルニ鑑ミ業務ヲ承認シタキ旨ヲ語りタルトコロ滿場異議ナ

ク承認シタリ

三、諸般ノ報告

古野社長ヨリ左記事項ニ付キ報告シ出席理事一同承認シタリ

社 團
法 人
同 盟 通 信 社

四、社員新開社舉動ノ件

第二十七回理事會後北海道新聞室蘭支社方昭和十八年本日

限り廢刊退社シタルニヨリ現在社員數ハ八十八社三協會ナ

リ

五、理事監事舉動ノ件

理事林政武氏（北國新聞社）ハ昭和十八年十月六日死亡

理事小森七郎、藥田欽次郎、清水順治、藤正雄（日本放送

協會）ノ四氏ハ昭和十八年十二月十五日辭任シ同日後任理

事トシテ下村宏、矢野通、西郷知一、矢部謙次郎（日本放

送協會）ノ四氏就任

常任監事古賀善吉氏（日本放送協會）昭和十八年十二月十

五日辭任シ同日後任監事トシテ藥田欽次郎（日本放送協會）

就任

（一）職制改正ノ件

決戦非常時ニ於ケル思想戦ヲ積極果敢ニ展開シ一面事務ヲ簡素化スルタメ一月一日附職制改正ヲ實施セリ、即チ從來ノ本社五局三十五部ヲ五局二十六部ニ改メタリ

（二）支局新設及廢止ノ件

通信網擴充整備ノタメ前理事會後國內及南方ニ於テ左記ノ通り新設又ハ廢止セリ

新設

咸興支局	岐阜支局	福島支局
水戸支局	新義州支局	宇都宮支局
山口支局	鳥取支局	浦和支局
前橋支局	千葉支局	奈良支局
大津支局	ボンチャナク支局	コタラジャ支局

社団法人 同盟通信社

パダン支局 タイピン支局 パラオ支局

廢止

室蘭支局

（三）郷軍同盟分會設立

時局ノ要請ニ基キ他ニ率先シ昭和十八年五月五日帝國在郷軍人會同盟分會（職域分會）ヲ設立シ職員ノ軍事訓練ヲ毎日比谷公園ニ於テ實行シツ、アリ

（四）編輯聯誼關係

（1）原稿ノ活版印刷化

タイプ印刷ノ不鮮明、資材勞力不足等ノタメ漸次活版印刷化ヲ實施スル計畫ニテ既ニ本年一月以降同盟印刷工場ニ於テ特信、豫定稿等ノ印刷ヲ開始シ之ヲ各社ヘ配付シツ、アリ又時事通信、經濟通信モタイプ印刷ヲ廢シテ着

々活版通信ニ切り替へツ、アリ

(2) 女子職員ノ採用

公用男子職員ノ補充トシテ女子ノ大量養成ヲ實施シツ、アリ

(3) 無電統制ノ實施

南方ハ昨年八月、支那ハ同九月ヨリ無電ノ一元統制ヲ實施サレ夫々現地ニ於テ處理シツ、アリ

(4) 文字電送機ノ完成

多年研究ヲ重ネタル文字電送機ハ本年一月大体完成シ近ク實用ニ供スル豫定ナリ

(5) 専用航空機擴充

現在南方各地トノ聯絡用トシテ大型三機ヲ活用シツ、アリ

(6) 外電ノ狀況

戰局ノ進展ニ伴ヒ外電受信量モ増大シ現在一日約十萬餘語入電、之レヲ壓縮整理ノ上約六萬語トナシ其ノ内新聞社ニハ三分ノ二即チ約四萬語ヲ配付シナルガ新聞紙面ニハ更ニソノ五分ノ一程度ガ掲載サレルニ過ギズ又他ノ三分ノ一約二萬語ハ不發表情報トシテ之ヲ軍並ニ政府當局ヘ提供シ居レリ

(7) 戰時調査室ノ新設

大東亞戰爭遂行上必要トスル内外ノ資料ヲ同盟ノ總力ヲ擧ゲテ蒐集シ之ヲ對外電信回報ノ材料ニ活用スルト共ニ軍、官、新聞社、放送局、指導者層等ヘ提供スルタメ本年一月本社ニ戰時調査室ヲ設置シ着々效果ヲ發揮シツ、アリ

社 團
法 人
同盟通信社

(8) 特信ノ刷新

從來地域ニヨリ内容ニ區別ヲ附シ居リタルABC三本建
ノ特信ハ一本建ニ變更シ同時ニ種目ニモ大刷新ヲ加ヘタ
リ

四次テ古野社長ハ左記事項ニ付キ理事會ノ諒解ヲ求メタル處出
席理事一同承認シタリ

(イ) 社費月額ノ件

同盟ハ毎年理事會ニ於テ承認サレタル豫算ヲ以テ運営シツ
、アルガ各種施設ノ擴充及之ニ伴フ人員増加並ニ物價昂騰
等ニヨリ諸經費ノ膨脹ハ已ムヲ待ザル情勢ニアリ之ニ對シ
現業理事ニ於テハ極力事業收入ノ増加ト經營節約ニ努ムベ
キモ萬已ムヲ待ザル場合ハ社費月額基準ノ改訂ヲ要望スル
コトアルベキニ付豫メ諒承アリタシ

社 團
法 人
同盟通信社

(ロ) 新聞白損紙ノ供與ニ關スル件

各新聞社、放送局ニ配付スル印刷原稿送付ニ付テハ最近用
紙不足ニ悩マサレツ、アルニヨリ各社ノ白損紙ノ一部分ヲ
所在同盟支社局ニ供與サレタシ

(ハ) 新聞社ト地方支局トノ協力ニ關スル件

應召、入營者ノ數ガ益々増加ノ結果特ニ小人數ノ支局デハ
手不足ニ著シク悩ミツ、アリ、付テハ無電受信ノ翻譯等ハ
新聞社ノ編輯係ニ協力援助ヲ求メタク近ク之ガ具體的協議
ヲ才願ヒシタキ考ヘナリ

五最後ニ高石會長ヨリ古野社長ノ發議ニ基キ協議事項トシテ同
盟通信社ニ顧問ヲ置ク件ヲ議題ニ供シタキ旨ヲ語り右ニ關ス
ル古野社長ノ説明アリタル後杉山理事ヨリ顧問ノ人選ハ會長
及社長ニ一任シタシトノ動議提出採決ノ結果滿場一致可決承
認ヲ見タリ

議長
理事
理事

高石真五郎
矢部謙四郎
北野吉内

社団法人

同盟通信社

昭和十九年度一般會計收支決算

收 入 之 部		支 出 之 部	
新聞通信收入	5,363,220.-	總 體 費	1,540,180.-
經濟通信收入	3,492,960.-	本 社 費	4,161,240.-
海外通信收入	10,591,840.-	國內支社局費	4,071,740.-
通信外諸收入	876,480.-	海外總支社局費	6,332,880.-
寫真部收入	920,100.-	國內電信電話費	1,152,240.-
出版部收入	1,037,400.-	海外電信電話費	3,124,900.-
		寫真部支出	1,013,220.-
小 計	22,282,000.-	出版部支出	917,400.-
當期缺損金	31,800.-		
計	22,313,800.-	計	22,313,800.-

昭和十九年度兩方通信特別會計收支決算

收 入 之 部		支 出 之 部	
通信諸收入	7,449,900.-	總 體 費	1,684,980.-
通信外諸收入	225,600.-	總支社局費	4,512,600.-
		電信電話費	1,500,120.-
小 計	7,675,500.-		
當期缺損金	22,200.-		
計	7,697,700.-	計	7,697,700.-